



Parkside Chapel

〒489-0008
愛知県尾張旭市柏井町弥栄229
TEL.0561-54-8853
献金: <https://parksidechapel.net/giving/>



vol.01
January 2024



新年のご挨拶

小池 牧雄 師

主の年、2024年がスタートしました。年の初めに必ず読む聖書箇所があります。

「そこは、あなたの神、主が求められる地で、年の初めから年の終わりまで、あなたの神、主が絶えず目をとどめておられる地である」(申命記11章12節)

この年に何が起こるのかは誰も知りません。良くも悪くも予想外のことが起きてくるのが私たちの人生です。しかし、神さまを信じて歩む私たちにとって上のみ言葉は、生きる力と勇気を与えてくれるものです。

①年の初めから終わりまで神さまは私の歩みに目を留めて下さっている。

だから大丈夫。勇気を持って踏み出していきましょう。

②2024年は神さまが私に求めておられる地(年)である。

取るべき領域が用意されています。たとえ今はそう見えなくても。

期待を持って踏み出していきましょう。主を深く知る一年となりますように。



クリスマスゴスペルコンサート

滝澤 礼奈

以前ゴスペルコンサートで「ゴスペルとは、神様からの良い知らせ」だと聞いてから「なんて素敵な意味なんだ!」と思いました。クワイヤーの皆さんの素敵な笑顔を見ていると「神様からの良い知らせを撒き散らしてる!」と吸い込まれそうになります。

そして、この度私はコンサートでゴスペルフラを踊ることになりました。フラを始めてから今まで弱さや葛藤を通りましたが、踊り続ける道が開かれていきました。ゴスペルフラは、踊る、じゃなくて神様を身体で賛美する感覚です。フラを踊っている時は、今まで何十回と舞台上で踊っていた時の「みんな!私を見て!」じゃなくて、「みんな!神様を感じて!」になります。まさに、神様からの良い知らせを全身で撒き散らす、です。コンサートでは神様からの良い知らせが飛びかう中みんなが笑顔で満たされて、とても優しい空間でフラを踊れて幸せでした。これからも沢山のの人に神様からの良い知らせを身体で伝えたいです。



ユースクリスマスパーティー

小池 なな

ユースクリスマス会では、羊飼いの視点からのクリスマスが語られました。イエス様は、救い主であるにもかかわらず、家畜小屋で幼子としてお生まれになりました。それは、一部の誰かにとって近づきがたい神様ではなく、すべての人にとって親しみやすい神様となるためだったということでした。

私は子どもの頃から教会に来ているので、クリスマスのは何度も聞いていました。しかし、今回羊飼いの視点から今一度その意味に立ち返ったことで、クリスマスにより身近に感じる事ができたように思います。毎年やってくるクリスマスですが、毎回新たな気持ちでイエス様の誕生を祝い、感謝するときとしたいと感じました。

PRAYER'S REQUEST

祈りのリクエスト

- 新しい年のパークサイドの歩みのために
- 教会の経済的必要、ビジョンのために

- 各ミニストリーの祝福のために
- 洗礼者が起こされるように

 Parkside Chapel
〒488-0008
愛知県尾張旭市柏井町弥栄229
TEL:0561-54-8853
献金:<https://parksidechapel.net/giving/>

 PARKSIDE NEWS

vol.02
February 2024



今月の証し人

村知 誠

村知さんはどうやってクリスチャンになりましたか？
神様に感謝していることはありますか？



終戦後、疎開先から今の守山区に帰って来て、そこで入学した小学校で声をかけてくれた友達が、クリスチャンだった。その子が僕を日曜学校に誘ってくれて、特にやることもないし、その友達がいるなら行ってみようと思ったのがはじまり。その頃は周りに教会がなくて、家で日曜学校が開かれていた。当時7~8人の子どもが集まってたかな。僕が8歳くらいの時だと思う。
そして途中をかなり飛ばすけど…家内と結婚しました。家内はクリスチャンで、瀬戸サレム教会に通ってた。それである日、ハーゲン先生（当時の瀬戸サレム教会の宣教師）がトラクトを配っている時、偶然声をかけられて、再び教会に通うことになった。僕はしばらく家内について行く形で教会に行き、その後入信することになった。僕には両親がいないので叔父たちも僕がどこに行ってもいいと思ってくれたみたい。家内より僕の方が長くキリスト教と馴染みがあったわけ。
神様に感謝していることは、家内と知り合ったことです。幸せでした。



インタビューしてみた!

第一回 LOVE CHURCH [エニアグラム]

寺嶋 えり子

1月から始まったLOVE CHURCHでは、エニアグラムについて学びました。エニアグラムを通して自分の潜在的な価値観を自覚でき、また、他の人との違いを理解することができました。私は自分はきっちりしたタイプと思っていましたが、それは周りから影響を受けてきたからかもしれない、という気づきがありました。そして私の潜在的な価値観は、「楽しいことがとても重要だ」ということを認識しました。
エニアグラムには、陥りやすい囚われやストレスに感じやすいこと、学ぶべき人など、自分の傾向を理解し助ける項目があり、今後の自分の対応策として参考にしたいと思います。
自分の傾向を知り、お互いの違いを知って理解し合い、良い影響を受け合うことで、相乗効果がうまれるのではと思える学びでした。



SEED [中高生会]

西寄 陸

私は今年度から始まった「SEED」という中高生の働きに関わらせていただいています。一緒にご飯を食べ、ゲームをし、聖書のことばを学んでいます。私も中高生に向けて聖書のことばを分かち合う時があり、資料や聖書を読み込んでいく中で神様の素晴らしさを感じることができ、とても良い経験となっています。また、皆さんのたくさんのサポートにも感謝します。
私は中学3年生の時に神様を信じました。しかし、礼拝では何を言っているのか、さっぱりでした。それでも友達がいったりイベントがあったりしたので教会には行っていました。あの時教会につながっていたから、今の信仰があると感じています。環境も大きく変わり、教会につながる事が難しい、一体何を言っているのか分からないというような世代かもしれませんが、このSEEDの働きが神様を信じるきっかけ、信仰を深めるようなものになれば良いと思います。中高生のみなさん待ってます!

PRAYER'S REQUEST

祈りのリクエスト

- 能登半島地震で被災された方々のために
- 一人ひとりが「キリストのからだ」として成長できるように
- 洗礼を受ける人が多く起こされるように
- 癒しが必要な方々のために



vol.03
March 2024



今月の証し人

救いの証

私が初めて教会という所に行ったのは、中学校に入った年のことでした。クラスで友達になった仲よし3人組の女の子と家の近くの公園で遊んでいた時、その公園の向かいにあった教会に通っていたお姉さんから、「明日の土曜日は、中高生向けの楽しいイベントがあるからおいで！」と誘われました。それが教会に行き始めたきっかけでした。

その教会で新しい友達もでき、やはり行けば楽しいので何度も通いました。でも、当時は救いとは考えたこともなく、いつの間にか教会には行かなくなりました。それから20年ほどして、ふとゴスペルを歌ってみたいと思い、パークサイドチャペルに見学に来ました。私はその日に、なぜだか「もう自分はこれからはここにいるもの！」「来たからには礼拝もふつうに来るもの！」と思いました。礼拝で聞くメッセージの大事なことは、中学生の時に聞いてきたことと同じ。「それじゃあ、私もイエス様、もらいます！」この一択しかなくなっただけです笑。



杉浦 智里

寄愛サロン

野田 美代子



ご年配の方が参加される〈寄愛サロン〉があります。「どう？」と誘われたのがきっかけで、両親が教会に来たら良いなと、初めは何となく参加したという感じでした。

会の始まりに近況報告や「～について思うこと」等、一人ずつ話をします。その方の思いや日常が垣間見え、短い時間ですが皆さんが話をされ、お互いが元気に来られたことにも感謝する良い時間です。最近はゲームやちぎり絵などをして今では私もこの時間をゆったり楽しませてもらっています。

(もちろん聖書のお話もあります)

私の父も途中から参加するようになって楽しみにして来ていました。父が亡くなった後は不思議と母が参加し、礼拝にも来てくれるようになり、神様の愛を知る機会のある事に感謝しています。私自身も色々な経験をされた方のお話に慰められたり力を貰ったりしています。皆さんがお互いを労って励まし「また、来月もねっ」と元気に帰っていかれる姿が何ともあたたかい雰囲気です。

KIDS

やきいも大会

小林 仁美



今回のやきいも大会は雨天のため室内で行われましたが、守られ無事においしく焼き芋を食べることができ感謝でした。今回も、子どもたちの可愛さや笑顔からたくさんの元気をもらいました！

聖書のお話の時間には、心を温めてくださる神様の愛について分かち合われ、子どもたちと一緒に祈りすることができました。ひとりひとりが神様から造られた大切な存在であることを知ることができますように！「この1日が楽しかった」と子どもたちの思い出となること、また私たちを通して神様の愛が流れていくことを願います。

キッズイベントは、毎回たくさんの人の協力のもと準備され当日の開催まで至ります。それぞれの賜物が輝く場面を目にすることや、チームで仕える喜びを体験させてもらい感謝です。

神様、ありがとう！

皆さんのお祈りに感謝します。

PRAYER'S REQUEST

- 教会の24年度予算・活動予定が承認されました。教会が神様の御心に従って歩めるように
- 祈りのリクエスト
- 洗礼を受ける決心をする人が起こされるように
- 3/17の能登チャリティーコンサートの祝福のために



vol.04
April 2024



今月の証し人

関西聖書学院 (KBI) の3週間コースに入学することになったきっかけは何ですか？



朝生 ハナナ

ここ最近の話なのですが、神様の溢れるばかりの恵みを経験しました。それは、人生の中で神様が与えてくれた素晴らしい恵みの上位ランキングに入るほど、貴重な体験でした。そんな中、神様のことをもっと知りたい、伝えたいという思いが強まり、お祈りしていたら「ハンナちゃんもKBIどう〜？」とやってくれた、ゆうかさんからの言葉を思い出し、受講を決めました。神様の恵みにどっぷり浸かり、沢山のことを学ぶ時間にしたいです。



加藤 祥子

コロナが始まったくらいからずっとKBIに行こうと思っていましたが、今年入学しないと行く機会がなくなるかと思って覚悟を決めました。今まではKBIに行けない理由をあげていたんですが、行けない理由をなくしていったら、どんどん道が開かれて、行けない理由がなくなっていました。今の自分をもうすこし変えなきゃと思っていたので、覚悟を決めて、3週間コースに行ってきます！



小林 真紀

洗礼を受けて間もない頃、KBIの通信で旧約聖書概論を受講しました。1年の学びを終えた時、50歳になったらKBIに行って聖書を学びたいという思いが与えられました。50歳は、二女が大学を卒業すると同時に、私が子育てを終える年。人生終盤の生き方を考える時に、一度立ち止まって神様の前に出て心を整えたいと思いました。あれから20年。今もその思いは変わりません。人生の終盤戦に向けて3週間みっちり神様と作戦会議して参ります！

萩野 智明くん結婚式レポート

小池 有

3月10日、親友の智明の結婚式をお祝いしに徳島に行ってきました。結婚式での智明はとても幸せそうで、これからきっと良い家庭になっていくんだろうと見ていて思いました。奥さんもとても綺麗な方で、智明には勿体ないくらいです笑

智明が徳島にってしまうのは、僕としてもとても寂しいことですが、喜びと共に送り出し、2人の祝福を祈り続けたいと思います。距離は離れますが、祈りには距離が関係ないことを感謝します！

皆さんも、智明のことを祈りに覚えていただけたら嬉しいです！智明、本当におめでとう！！



結婚式の様子を観ることができます！
智明くんからメッセージも届いています！

洗礼式直前！
突撃インタビュー！

洗礼を受けることになった
今の気持ちを教えてください！



(洗礼式が) どんない感じが分からないから、ちょっと緊張するけど、楽しみ！ 35%くらい楽しみで、 65%くらい緊張してます

寺嶋 歩希



緊張はしてないんですけど、嬉しい反面、まだ不安なところもあるので、洗礼を受けてその不安が払拭されればいいと思います。 今まで僕のために祈ってくれた人たちに本当に感謝しています！

服部 大地



すこし緊張していますが、すこし楽しみです！ 証の準備はできてます 楽しみです！

藤本 希望

PRAYER'S REQUEST

- 4月から新生活をスタートさせる方々がそれぞれの場所で守られ、祝福されるように 祈りのリクエスト
- KBI 3週間コースに入学される方々の学びと導きのために
- 痛みや苦しみを通っている方々のために



Parkside Chapel
〒488-0008
愛知県尾張旭市柏井町弥栄229
TEL:0561-54-8853
献金:<https://parksidechapel.net/giving/>



vol.05
May 2024



photo by Yua



photo by John

みことばde写真

明日のことを心配するのはやめなさい。
神は明日のことも心にかけてくださるのですから、
一日一日を力いっぱい生きなさい。

マタイ6：34

みことばを写真で表現する、《みことば de 写真》
皆さんからのみことばと写真を大募集します！
詳細は、PN委員（愛梨・祐佳）まで！

今月の証し人

今月はパークサイドで最初に洗礼を受けたこの方に聞きました！



寺嶋 孝光

初めて教会に足を運んだのは20歳のときでした。大学で留学を目指していた私に、ミッキー（日高三喜雄兄）が「ネイティブと英語が話せるよ」と声を掛けてくれ、英語礼拝に参加したのが最初です。何度も足を運ぶようになり、そこに集う人たちの温かみと優しさに触れ、クリスチャンという存在に興味を持つようになりました。そして、いつからか日本語礼拝にも参加するようになりました。とんとん拍子に事が進み、矢作川で洗礼を受け、パークサイドの一員に加えてもらいました。何も知らなかった私がパークサイドと出会い、家族も与えられ、信仰生活が守られている、今考えてもこのすべてが神様の導きでしかないと思いますし、感謝しかありません。

JSキャンプリポート！

3/24-26
JEC中高生キャンプに参加しました！
@大阪・貝塚



私は、今回のJSキャンプを通して沢山のことを学びました。一番心に残ったことは「神様から始める」ということです。「どんな信仰でも神様から始まる」と聞いて「確かにな」と思いました。私はこの言葉を聞いて私も何事も神様から始めてみようと思いました。他にも先生の話や聞かなかで沢山の発見をしました。朝起きた後に同じ部屋の子とメッセージで受け取った事を共有する時間があって、そこでみんなが受け取った事は違ったけれど、JSキャンプを通して神様の良い所を沢山受け取ることができました。 寺嶋 美香

先日JECのJSキャンプに参加してきました。300人近いクリスチャンがいて、こんなにイエス様を信じている人がいるんだと驚いたのと同時に、たくさんの人を救ったイエス様の偉大さを感じました。まだ世の中にたくさんのクリスチャンがいると思うと、色々な人と出会ってみたいなと思いました。

キャンプの中でイエス様から「始めて」「共に歩み」「捧げる」ということを聞き、自分の賜物、人生をイエス様のために使いたいと思えました。キャンプの3日目、自分はパークサイドの賛美チームとしてギターを弾きました。そこで全員が1人の神様を見上げて賛美し礼拝している光景に感動しました。音楽を通してイエス様を礼拝することの素晴らしさを肌で感じました。音楽など何かを通じてイエス様を伝えたいと心から思いました。 久野 陽斗

祈りの家 (GOOD FRIDAY)

袴田 愛梨

3月の祈りの家はイエス様の十字架を覚え、普段とは違い金曜日にもたれました。イエス様の十字架を覚え賛美し祈る中で、イエス様が私のことを愛し、私の罪も一緒に背負って十字架に持っていかれた、その愛の大きさを知りました。と同時に、まず最初にイエス様が私を愛されていて、だから私がイエス様を愛する理由、喜ぶ理由があるということ再度受け取る時となりました。また、そのことを共に集まって祈ることができる、この祈りの家の時間に感謝しています。”あなたがたのうちの二人が、どんなことでも地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父はそれをかなえてくださいます。”一緒に集まって祈る、この時間を大切にしたいと思いました。



LOVE CHURCH VOL.4

第4回LOVE CHURCHは、パークサイドの歴史を振り返る「パークサイドヒストリー」でした。23年の歩みや、教会開拓時の思いなどについて富雄師にインタビューしました。このバトンを次世代につないでいきましょう！



PRAYER'S REQUEST

●新しく始まるキッズアドバンスミニストリー (4/28) の祝福のために

祈りのリクエスト ●教会がさらに地域に開かれていくことができるように



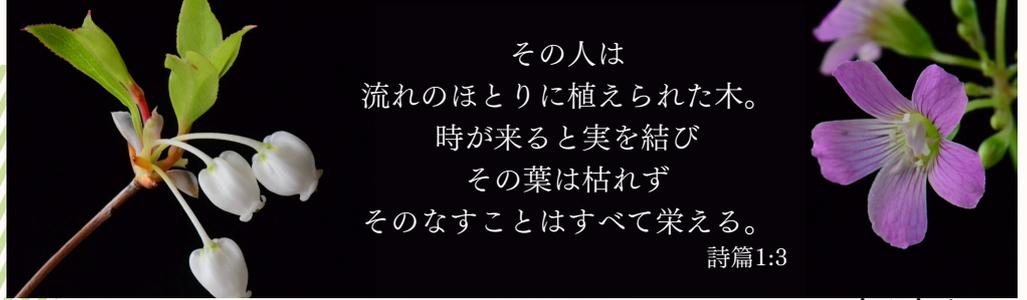
Parkside Chapel
〒488-0008
愛知県尾張旭市柏井町弥栄229
TEL:0561-54-8853
献金:<https://parksidechapel.net/giving/>



vol.06
June 2024

みことばde写真

皆さんからの
《みことばde写真》大募集します！
詳細は、PN委員（愛梨・祐佳）まで！



その人は
流れのほとりに植えられた木。
時が来ると実を結び
その葉は枯れず
そのなすことはすべて榮える。

詩篇1:3

photo by Imazu

今月の証し人

私は子どもの頃テレビで放映されていた聖書物語を観たことがあり、小6の修学旅行で長崎の二十六人聖人記念館へ行った時、「神は愛なり」を見て以来ずっと心の中で「この言葉は何だろう」と思っていました。高校の時には日本史の教科書に「永遠のいのち」という言葉があり、これも何のことかと思いを巡らせていました。専門学校でクリスチャンの先生に出会い、そこから教会へ行くようになりました。賛美を歌うことで心から歌うことができる歌に出会いました。二十歳で洗礼を受け、これまで様々なことが私の人生の中でありましたが、主を賛美し、みことばを知って、聖書物語で観ていたことや神の愛、永遠のいのちを理解できるようになりました。私とともにいてくださり、導いてくださった主に感謝します。

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことにおいて感謝しなさい。
これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

Ⅰテサロニケ5：16-18

ウォール 典子

キッズアドバンス イベント

黒田 康成



小学生高学年向けのミニストーリー、キッズアドバンスイベントが始まりました。最初にユースメンバーも混じえてアイスブレイクを行いました。ゲームでは子どもたちの笑顔でいっぱいになりました。この笑顔は何にも変えられないと思います。キッズアドバンスに来る子どもたちは、これから神様の存在がさらに分かってくる、洗礼を受ける決心をするといった信仰の重要な時期を迎える子たちだと考えています。その時期に関われることに感謝して、アドバンスのスタッフとして、可能な限り色々な時を共に過ごせたらいいなと思っています。お米を炊き忘れるというハプニングもありつつ、最高のカレーライスとハヤシライスを作ることができました。来月のイベントにも期待します！！

パークサイド 食堂

川崎 小代



子ども食堂が始まって、今月で8年目に突入しました。最初からいろいろな方たちと交わりをもちながら参加できていくこと、守られていることに感謝しかありません。食材なども、毎月決まったところからの寄付があり、有り難く使わせて頂いています。何よりも毎月楽しみに来てくださる方々、「今月も100点！」と声をかけていただいたり、小さな子どもたちの成長を見ることができたり、毎月大変ですが、このようなことが活力になり今まで続けることができました。その真ん中でいつも見守ってくださっている神様に感謝です！！

パークサイド食堂では、キッチン・配膳ボランティアを募集しています
とくに17時からの配膳ボランティアの方を求めています！
ご興味のある方は、牧雄先生までお声がけください！！

PRAYER'S REQUEST

● 富雄師の体調が守られ、心と霊が平安であるように

祈りのリクエスト ● 夏のイベントに向けて準備が整えられるように。参加する方々の祝福と関わるリーダー・スタッフのために



Parkside Chapel
〒488-0008
愛知県尾張旭市柏井町弥栄229
TEL:0561-54-8853
献金:<https://parksidechapel.net/giving/>



vol.07
July 2024



photo by John

みことばde写真

見よ。
なんとこの幸せ なんとこの楽しさだろう。
兄弟たちが一つとなって、
ともに生きることは。
詩篇133:1



photo by Yu

今月の証し人

大学3年の時に信仰をもち、その後イエス様から離れていた時期がありました。しかし、仕事上の人間関係の悩みを機に、パークサイドチャペルを通してみもとに戻ることができました。それは放蕩息子のようでしたが、ここからが本当の意味での人生の転換期になったと思います。

現在まで主から本当にたくさんの恵み、憐れみを頂いてきました。詩篇116:12-13「主が私に良くしてくださったすべてに対し、私は主に何と応えたらよいのでしょうか。私は救いの杯を掲げ、主の御名を呼び求めます。」これは、私が約3年前に与えられた御言葉です。日々の主の豊かな恵みに感謝し、少しばかりですが奉仕を続けることにしました。また主から与えられたお金は十分で、その一部は必ず十分の一お返しするようにしています。

私は今もなお多くの失敗をしてしまいますが、このような私でも、主は見捨てず愛してくださるので、それに少しでも応答していきたいと思います。そしてまだ救われていない、愛する家族や友人のために祈り続けたいと思います。これからの歩みもずっと主とともに。



佐々木 康子

ピースカップ2024 パークサイドフットサル



5月26日、ピースカップが開催されました。まずは準備や運営に携わってくれた人たちに感謝します。チーム数も多くなり、どうしたら全員が楽しめるのかと頭を悩ませていました。

「平和をつくる者は幸いです。」(マタイ5:9) というみことばの通り素晴らしい試合の数々で、喜びも悔しさも共有しながら笑顔の溢れる平和な時間を過ごしました。このミニストーリーは教会を知るきっかけとして大事なものだと思っています。私もフットサルを通して救われたので、今回初めて教会を知った人にも福音が伝わっていくように、この繋がりを大切に祈ります！

砂川 和哉

英語教室は、地域との繋がりを広げるきっかけとして、また『福音の種まき』という想いで14年続けてきました。そんな英語クラスにオーストラリアからYWAMチームが来てくれました。英語で自己紹介や質問をしたり、レッスン後には一緒に時間を過ごしたりして、子どもたちにとって楽しく思い出に残る時間になったと思います。保護者の方々も、その様子を見てとても嬉しそうでした。YWAMチームを通して、神様の温かい心・喜びが流れた時となりました。そしてこのイベントが子どもたちと保護者の方に、教会への扉を開くきっかけになったように感じています。 寺嶋 えり子



PRAYER'S REQUEST

祈りのリクエスト

- 夏のイベントのためにお祈りください！
 - ・7/6 キッズ夏祭り ・7/7 ユースアロハナイト
 - ・8/1-2 キッズキャンプ ・8/11-12 中高生ユースキャンプ ・8/25 アロハゴスペルコンサート
- ひとりひとりの信仰が守られ、互いに励ましあっていくことができるように



vol.08
August 2024



photo by Airi

みことばde写真

神はご自分が造ったすべてのものを見られた。
見よ、それは非常に良かった。
夕があり、朝があった。
第六日。

創世記1:31



photo by John

今月の証し人

私は中学3年の5月にクリスチャンになり、その後1年の間に家族全員が救われてクリスチャンホームになりました。

私は幼い頃からてんかんの失神症を患い、11歳の時に20歳まで生きられないと余命宣告を受けました。医師は私に「何でも好きな事をして良いよ」と言いました。幼い私には家族と長く過ごしたいという思いと、学校でいじめもあったので皆と同じように普通の事をしたいという思い、そしてウェディングドレスを着たいという願いと夢がありました。

私は13歳の時にイエス様に会い、イエス様を信じれば病気は治ると信じて祈りました。また多くの牧師先生や兄弟姉妹のとりなしの祈りがありました。主はその祈りを聞いてくださり、病を癒し、私の願いや夢も叶えてくださいました。今まで様々な事がありましたが、今は主の完全な赦しと癒し、愛と恵みを受けて感謝しています。これからも主を信頼して歩んでいきたいです。



榎本 由加利

ユースアロハナイト

朝生 ハンナ

7月7日にユースのアロハナイトが開催され、フラダンスとサインダンスを合同で踊る機会が与えられました。曲はAvalonのKeeper of my heartで、歌詞を読むだけでも励まされる大好きな曲でした。また、今回サインダンスのパートを踊ったみんなは、サインダンスを踊るのが初めてだったのですが、ダンスを通して体全体を使い、神様を賛美する喜びや楽しさを一緒に分かち合うことができ本当に嬉しかったです。私はダンスを通して与えられる神様の恵みを見ることに、いつも期待しています。神様は練習時の交わりや曲の歌詞を通して、様々な出来事からも恵みを体験させてくださるお方だなあと改めて思う、素晴らしい時となりました。



キッズ夏祭り

小池 祐佳

7月6日にキッズ夏祭りが開催されました。久しぶりに顔をあわせる子どもたちとの再会に、迎える私たちも自然と笑顔になりました。小さなお子さんから高学年のお友達までみんなが楽しめる遊びが用意され、教会は子どもたちでいっぱいになりました。キッズのイベントを通して、お子さんやその保護者の方が教会に自然と足を踏み入れ、「受け入れられている」「愛されている」「楽しい!」と受け取ってもらえたら、これ以上の喜びはありません! キャンプに向けてバトンをつなぐ、良い時でした。



子ども達に聞いてみた!
一番楽しかった遊びは何ですか?

スーパーボールすくい!

サッカー! バスケ!



PRAYER'S REQUEST

祈りのリクエスト

- 夏のイベントの準備と参加される方たちのために。
- 暑い夏から一人ひとりの体調が守られるように。お互いに励まし合い、荷い合うことができるように。
- 夏の必要が満たされるように。

 **Parkside Chapel**
〒488-0008
愛知県尾張旭市柏井町弥栄229
TEL:0561-54-8853
献金:<https://parksidechapel.net/giving/>

P **N**
PARKSIDE NEWS

vol.09
September 2024

天の御国はからし種に似ています。
人はそれを取って畑に蒔きます。
どんな種よりも小さいのですが、
生長すると、
どの野菜よりも大きくなって木となり、
空の鳥が来て、
その枝に巣を作るようになります。
マタイ13:31-32



photo by Airi



photo by Imazu

今月の証し人



高橋 悦子

高校2年の時に語学留学をした先がカナダのクリスチャン学校でした。ホストファミリーと一緒に教会へも通いました。私の中での「クリスチャン=人の為に祈る親切な人たち」という印象はこの頃から変わりません。帰国して1年後、留学先の担任だったファスト先生が多治見に教会を作ってくれたおかげで、教会へ通うという事が日常になりました。

そのうちいよいよ神様と自分の関係を考えるようになり、「こんな私も神様から愛されているんだ」と実感するようになりました。自己肯定感の強くなかった私も自分の事がなんだか尊く思えてきたのを覚えています。それでも疑い深い私でしたが、最後は「最悪、もし違ってもいいじゃない、何かを取られてしまうわけでもないし」と変な保険をかけながら、思い切ってノックされた心の扉を神様に開け「どうぞ入ってきてください」と祈りました。

「あなたの御言葉はわたしの道の光、わたしの歩みを照らす灯」(詩篇119:105)

キッズサマーキャンプ 「いつもいっしょ ずっといっしょ」

8月2日～3日、岐阜県の地球村でキッズキャンプが行われました。テーマは、「いつもいっしょ ずっといっしょ」テーマソングは、「だいじょうぶ」。おそれることなく、たじろぐこともないのだと祐佳姉からわかりやすいメッセージを語っていただきました。参加メンバーの中には、子ども食堂やキッズイベントに来てくれている子もいて、もうすでに教会と関わりがあったこともあり、最初からリラックスしていた様子でした。準備の段階から何度も話し合い、時間を捧げ、仕えてくれたスタッフ一人ひとりに主の報いがありますように。また子どもたちに蒔かれた「イエス様が共にいて下さるから大丈夫!」という種が歩みの中で確かなものとなりますように!! 祈ります。

小池 晴子



中高生・ユースキャンプ "This I Believe" 私はこれを信じる

服部 大地

8月11～12日にユースキャンプがありました。私がキャンプに参加したのは今回が初めてでした。自然の中でバーベキューや焚き火、川遊びをして、普段の生活から離れて心身ともにリフレッシュできたキャンプになりました。また、洗礼を受けてから半年ほどが経ち、自分の信仰についての悩みが増えてきたタイミングでのキャンプでもありました。

そんななか、富浦先生から『あなたが右に行くにも左に行くにも、うしろから「これが道だ。これに歩め」と言うことばを、あなたの耳は聞く。』(イザヤ30:21)というメッセージが語られました。仕事や友人関係で悩む時にも神さまの計画があり、私はその計画のうちに歩んでいるのだと改めて感じる事ができ、すべてを主に委ねて良いのだと思わせる時間になりました。



PRAYER'S REQUEST

祈りのリクエスト

- イエス様を信じる決心をする方が起こされ、洗礼に導かれるように
- 怪我や病気などで苦しい状況にある方の癒しと回復のために
- 子どもたちの健やかな成長のために



vol.10
October 2024

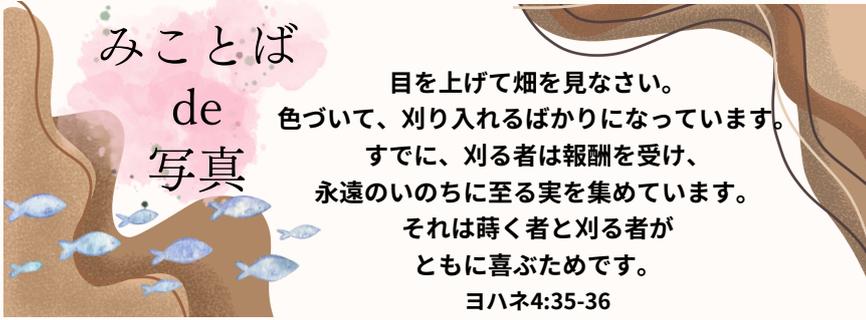


photo by Airi

今月の証し人

「俺ぜったい神様信じないからな」を超えていま神様に感謝していること

教会に初めて来たのは学生の時で、小池有アシスタントパスターが誘ってくれたことがきっかけです。サッカー部の仲間と教会へ行き、そこからイベントやキャンプに参加させてもらいました。社会人になってからもみんなが日曜礼拝へ誘ってくれて、毎週行くようになったことを覚えています。そんな風に皆さんと過ごす中で神様の愛を受け取っていったのと、賛美が大好きになり、賛美するなかでも神様の愛を感じていきました。

また、同じ時期に義父が天に召されました。辛い時でしたが、永遠のいのちの希望を受け取らせてもらう時でした。妻の祈って委ねて、苦しい時こそ感謝する姿には僕が励まされました。妻は今も側で祈り支えてくれて、苦しい時にはみことばで励ましてくれます。教会へと導いてくれたこと、仲間が与えられたこと、妻との出会いが与えられたこと、神様に感謝しています。



山本 悠平

JEC CSセミナー「さあ、広場に行こう」

磯村 直樹

実際に体を動かしてバルシューレの活動を体験しました!

9月16日(月) CS教師セミナーに参加してきました。『さあ、広場に行こう』というテーマのもと、キッズの働きを中心にパークサイドの教会内外でプラットフォームになっている取り組みについて紹介がありました。各教会や個人が、それぞれ与えられている賜物を持ち寄り、横のつながりをつくりながら誰もが集まることのできる、より良いプラットフォーム、より楽しい広場を作っていく。そして、より多くの子ども達に福音が伝えられていく。改めて、宣教はチームだと感じる空間でした。

「それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。」(ペテロの手紙 第一 4:10)



漫画倶楽部が発足!!

袴田 愛梨

9月1日(日)の午後、漫画倶楽部を開催しました。漫画好きが集まり、家にいるような心地よさの中でお互いの好きな漫画について語り合いました。

実際に漫画というトピックについてどのような部分が好きなのか、何に感動したのかなど話すなかで、相手を知る良い機会となりました。また、同じ熱量で話をしたり、感情を共有することのできる時間が嬉しかったです。このことを通して、漫画だけではなく、それぞれが自分の好きなことを用いて関係を深めていくきっかけになれば、と思います。



第1回 スタッフの おすすめ本 【キリスト教の精髄】CSルイス



小池 牧雄

もう古い本なのですが、「ナルニア国物語」の著者CSルイスのキリスト教入門書です。イギリスの15分ラジオ番組で29回に渡って放送されたものが本になりました。深い洞察をもってキリスト教信仰の正当性と豊かさを教えてくれます。この本は、大学時代、信仰の揺らぎを感じていた僕を助けてくれました。全てのクリスチャンにお勧めします!

今月からスタッフのおすすめ本をご紹介します! ぜひ手にとって読んでみてくださいね

Amazonでの購入はコチラ! →



PRAYER'S REQUEST

祈りのリクエスト

- 10/12-13に行われるオータムカンファレンス(安食弘幸師)のために
- 新しく始まったミニストリーの祝福のために(漫画倶楽部・Knock)
- 11/24(日)の能登チャリティバザーに向けて良い準備をすることができるように

 **Parkside Chapel**
〒488-0008
愛知県尾張旭市柏井町弥栄229
TEL:0561-54-8853
献金:https://parksidechapel.net/giving/



vol.11
November 2024



photo by Hitomi



私は山に向かって目を上げる。
私の助けは どこから来るのか。
私の助けは主から来る。
天地を造られたお方から。
詩篇121:1-2



今月の証し人

救いのきっかけや神様に感謝していることはなんですか？



上石 忠寛

父が牧師ということもあって、私は小さいころから教会に親しみ、クリスチャンとしてやってきているので、特にこの時から信じるようになったというのは覚えがありません。これまでの人生では、思ったようになって神様に感謝することもたくさんありましたが、うまくいかないことも当然あったし、どうしてこうなのかと神様に疑問を持つこともありました。ただ、そんなときも教会に通い続け、連なっていると、教会の人との交流や、先生のメッセージで気づかされたり、励まされたりでこれまでこれた気がします。

あの時は大変に思いましたが、今はそれも私に必要だったと思えることを感謝します。今後も何があるかわからないですが、共に最後まで教会に繋がっていきましょう。

オータムカンファレンス2024 「神の恵みに生きる」(安食 弘幸師)

小林 真紀

“「I have a dream」と夢を語ったキング牧師がアメリカを変えたように、「Boys be ambitious」と語ったクラーク博士が多くの人の人生に影響を与えたように、神様は私たちにしか出来ない夢やビジョンを託してくださっている。”

私にも夢があります。それに向かって1歩踏み出したけれど、思うように事は進まず目標は遥か彼方。辿り着ける自信もなく、私は人生の選択を間違えたんじゃないか。そんなふうに思い始めていた矢先に安食先生の冒頭のメッセージを聞いて、この夢が神様から託されたものだしたら、私の力ではなく神様の方法で必ず実現するという思いが与えられました。状況は何ひとつ変わらず不安な思いはもちろんあるけれど、残りの人生の全てを神様に捧げて生きていきたいと改めて思われる時となりました。



第2回

スタッフのおすすめ本

小池 晴子
放蕩の子どものための祈り
我が子のために祈る90日

ジェームス・バンクス 著
サンティラン前田登茂恵 訳



私は思春期の頃、神様に背を向けて、教会から離れていた時期がありました。そんな時、母は「涙の子は滅びることはない」という言葉に励まされていたと言っていました。つまり、母の祈りには特別に力があるということです。

この本はそんな祈りを助けてくれます。どうやって祈ったら良いのか、どう信仰を持てば良いのか、みことばを通して教え励ましてくれます。週ごとに題がついているので読みやすいのも魅力です。

先月からスタッフのおすすめ本をご紹介します！
ぜひ手にとって読んでみてくださいね

Amazonでの購入は
コチラ！→



カンファレンス動画は
こちらから！



フォローアップ



礼拝 / 神の恵みに生きる①



神の恵みに生きる②

PRAYER'S REQUEST

祈りのリクエスト

- 富雄師と幸子先生の健康の守りのために。
- 洗礼クラスが祝福されるように。
- 能登チャリティバザーの準備のために。